

公立病院改革プランの概要

団 体 名		仙台市					
プ ラ ン の 名 称		仙台市公立病院改革プラン					
策 定 日		平成 21年 3月 23日					
対 象 期 間		平成 21年度 ～ 平成 23年度					
病院の現状	病 院 名	仙台市立病院					
	所 在 地	仙台市若林区清水小路3番地の1					
	病 床 数	525床					
	診 療 科 目	内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、感染症内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科、病理診断科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>1 地域・市民に開かれた病院として、患者の視点に立ち、安全で安心な医療を提供する。</p> <p>2 政策的医療の中心的な担い手として積極的に取り組む</p> <p>3 市内唯一の自治体立総合病院として、各診療科が高度医療に取り組むとともに、地域の医療水準の向上に貢献する。また、地域医療機関との医療連携と機能分担を強化し、地域完結型の医療システムの機能発揮に貢献する。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		公営企業の独立採算の原則及び地方公共団体が地域医療に果たすべき役割を踏まえ、政策医療に係るものを基本とする。					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	104.6%		101.3%	101.9%	101.9%	
	職員給与費比率	58.6%		61.3%	60.5%	60.3%	
	病床利用率	86.2%		86.2%	86.2%	86.2%	
	入院診療単価(一般病棟)	42,403円		44,000円	45,000円	46,000円	
	外来患者数(本院外来)	1,060人		1,060人	1,060人	1,060人	
	外来診療単価(本院外来)	7,683円		7,800円	7,900円	8,000円	
	医業収益	95億7千万円		99億円	100億8千万円	102億6千万円	
上記目標数値設定の考え方		既に平成16年度以降、経常黒字を維持しているが、経営計画に基づきさらに経営体制を強化・効率化するとともに、新病院を見据えた医師等のスタッフの確保・充実を図り、新病院建設後も健全な運営を行うための経営基盤を確立していく。					

				団体名 (病院名)	仙台市 (仙台市立病院)			
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
救急入院患者数		5,078人		5,120人	5,150人	5,180人		
紹介患者率		46.2%		55%	60%	63%		
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入						
		事業規模・形態の見直し						
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院を見据えたスタッフの確保を図りながら、職員配置の適正化を行う。 ・後発医薬品の比率の向上、競争入札比率の向上などにより、経費・材料費を削減していく。 					
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・診療体制や診療内容を改善・充実し、「入院時医学管理加算」や「地域医療支援病院入院診療加算」などの診療報酬の加算を取得する。 ・患者の状況に応じて、薬剤管理加算、栄養管理加算、リハビリテーションなどを的確に実施する。 					
		その他						
各年度の収支計画		別紙のとおり						
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	89.6%	18年度	88.0%	19年度	86.2%	
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等							

団体名
(病院名)

仙台市
(仙台市立病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	仙台市内には、他に自治体立の総合病院はない。仙台医療圏内の自治体立総合病院としては、塩釜市立病院と公立黒川病院が存在する。		
	都道府県医療計画等における今後の方向性			
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 21年度に宮城県に仙台医療圏の関係市町村等を含めた検討・協議の場を設置するよう働きかけ、その協議・調整内容を踏まえて、市立病院の果たすべき役割の確保を前提に、平成23年度を目途に一定の結論を得る。	<内容>	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所)に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所)に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	決算提出後		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	仙台市
--------------	-----

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	10,143	10,676	10,588	10,904	11,050	11,196
	(1) 料 金 収 入	8,942	9,479	9,415	9,804	9,989	10,172
	(2) そ の 他	1,201	1,197	1,173	1,100	1,061	1,024
	うち他会計負担金	1,113	1,101	1,083	1,004	965	928
	2. 医 業 外 収 益	1,257	1,220	1,207	1,186	1,099	1,104
	(1) 他会計負担金・補助金	1,060	1,016	1,000	918	886	891
	(2) 国 (県) 補 助 金	38	34	34	34	34	34
	(3) そ の 他	159	172	173	234	179	179
	経 常 収 益 (A)	11,400	11,896	11,795	12,090	12,149	12,300
	入	1. 医 業 費 用 b	10,782	10,941	11,195	11,605	11,601
(1) 職 員 給 与 費 c		6,112	6,259	6,486	6,688	6,688	6,748
(2) 材 料 費		2,107	2,143	2,138	2,144	2,222	2,263
(3) 経 費		2,141	2,146	2,138	2,316	2,233	2,268
(4) 減 価 償 却 費		368	339	371	394	394	394
(5) そ の 他		54	54	62	63	64	63
2. 医 業 外 費 用		386	427	405	327	326	330
(1) 支 払 利 息		89	69	30	20	20	20
(2) そ の 他		297	358	375	307	306	310
経 常 費 用 (B)		11,168	11,368	11,693	11,932	11,927	12,066
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	232	528	102	158	222	234	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	61	114	90	120	120	120
	特別損益(D)-(E) (F)	▲ 61	▲ 114	▲ 90	▲ 120	▲ 120	▲ 120
純 損 益 (C)+(F)	171	414	12	38	102	114	
累 積 欠 損 金 (G)	4,274	3,861	3,849	3,810	3,708	3,594	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	2,619	3,157	3,286	3,593	3,859	4,239
	流 動 負 債 (イ)	1,080	1,072	1,052	1,270	1,375	1,448
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
	不良債務(オ)	▲ 1,539	▲ 2,085	▲ 2,234	▲ 2,323	▲ 2,484	▲ 2,791
差引 { (イ)-(エ) } - { (ア)-(ウ) }							
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	▲ 1,539	▲ 546	▲ 149	▲ 89	▲ 161	▲ 307	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.1	104.6	100.9	101.3	101.9	101.9	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 15.2	▲ 19.5	▲ 21.1	▲ 21.3	▲ 22.5	▲ 24.9	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	94.1	97.6	94.6	94.0	95.3	95.4	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	60.3	58.6	61.3	61.3	60.5	60.3	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0	0	0	0	0	0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率	0	0	0	0	0	0	
病 床 利 用 率	88.0%	86.2%	85.4%	86.2%	86.2%	86.2%	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」= (「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	仙台市
--------------	-----

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	236	602	150	546	620	8,662
	2. 他会計出資金	548	557	521	503	233	126
	3. 他会計負担金	57	37	67	40	40	40
	4. 他会計借入金	350	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	1,191	1,196	738	1,089	893	8,828
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	1,191	1,196	738	1,089	893	8,828	
支 出	1. 建設改良費	349	334	324	704	680	8,722
	2. 企業債償還金	615	1,079	694	701	423	185
	3. 他会計長期借入金返還金	400	50	50	50	50	50
	4. その他	117	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	1,481	1,463	1,068	1,455	1,153	8,957
差引不足額 (B)-(A) (C)		290	267	330	366	260	129
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	374	400	434	399	399	399
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	1	1	1	1	1	1
	計 (D)	375	401	435	400	400	400
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		▲ 85	▲ 134	▲ 105	▲ 34	▲ 140	▲ 271
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)-(F)		▲ 85	▲ 134	▲ 105	▲ 34	▲ 140	▲ 271

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(200,041) 2,173,214	(193,711) 2,116,699	(193,597) 2,082,647	(209,269) 1,921,782	(182,482) 1,851,342	(182,482) 1,819,327
資本的収支	(154,443) 604,852	(106,309) 593,803	(78,753) 587,927	(60,667) 532,706	0 272,561	0 165,605
合計	(354,484) 2,778,066	(300,020) 2,710,502	(272,350) 2,670,574	(269,936) 2,454,488	(182,482) 2,123,903	(182,482) 1,984,932

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。